

議長（黒沢義久君） 次，21番沢嶋亮君の発言を許します。

〔21番 沢嶋亮君登壇〕

21番（沢嶋亮君） 21番沢嶋亮です。発言のお許しをいただきましたので，通告順に従いまして質問をさせていただきます。

初めに，宮の郷工業団地への企業誘致推進状況であります。

大変厳しい経済情勢の中で，関係者の皆さんが企業誘致活動に積極的に挑戦されていることは承知しております。しかし，100年に一度あるかないかといわれる不況の中の企業誘致は，大変難しく厳しいものと思われまます。そこで次のような提案を行い，当市における宮の郷工業団地への今後の対応についてお伺いをいたします。

政府の地球温暖化対策基本法案の概要が明らかになり，地球温暖化対策で，二酸化炭素CO₂など温室効果ガスの排出削減について，総理が昨年9月に表明した目標に伴い，「西暦2020年度までに1990年比で25%超削減する」と明記され，2050年度までには80%超削減する長期目標も掲げられ，今開催されている国会に提出する法案について，そのことが一部条件を付け，まとめられたことが明らかになりました。また，温暖化対策では，この他1年間のエネルギー消費のうち，太陽光や風力，地熱，バイオマスなどの再生可能エネルギーと，廃棄物で生み出す熱の割合が，「20年度までに20%程度に達することを目標とする」ことを掲げられることが明らかになり，新聞報道で知り得ました。

一方，県においても宮の郷工業団地への企業誘致は，環境関連での新たな産業の立地可能性についても検討していくことが明らかになっております。現在，企業の進出が見当たらない中，現下の情勢をかんがみ，温暖化対策関係企業の誘致を検討すべきと考えますが，具体的には，自然エネルギーが求められる太陽光発電施設の誘致であります。石炭や石油などの化石燃料やウランを原料とする原子力発電と違い，利用する資源に限りのないエネルギーであり，環境対策にも貢献できます。

また，平成22年度の市長の施政方針の中でも，地球温暖化防止対策として「太陽光発電設備等設置補助事業」の新設や，庁舎の太陽光発電設備を行うと言っておりますので，ぜひ検討すべきと思われまますが，市長の考え方をお伺いいたします。

市道改良について，沢目・豆飼線について。

沢目・豆飼線は，地元の地権者のご協力により，小目町字豆飼の集落東側まで拡張工事が進んでおり，それ以後については，「再圃場整備事業」の計画の中で検討するとのお話を聞いております。その再圃場整備事業の中で，道路拡張計画が進められているのかどうかをお伺いいたします。また，沢目町，小目町字豆飼では，観光ナシ園を経営，シーズンには大型バスによるナシ狩りのお客様が見えられているとお聞きしますが，小目町字豆飼から293号線出口までが大変狭いため，ナシ園への入園ができずに帰られる状況です。当路線は，沢目町から川中子十字路へ接続することにより，諸問題が解決されると思いがすが，この件についてもお伺いをいたします。

新宿線市営斎場入り口から天神林町線について。

市道0126号新宿天神林線は，金砂郷南部地区から太田地区へ通じる幹線道路，いわゆる県

道富岡玉造常陸太田線が接続する国道293号交差点市営斎場入り口から、天神林町の県道日立笠間線まで結ぶ計画であり、現在、国道293号線から1,400メートルが完成しております。このことについては、平成16年の9月の議会においても一般質問を行い、その回答を得、計画の実行を待ち望んでおりました。しかし、一向に計画が進まず未解決状態であり、今のままでは税金の無駄遣いともとられる路線となります。再度、関係地権者に親切、丁寧に事情を説明、交渉を行うことが望まれます。非常に難しい交渉が予想されますが、挑戦しなくては何事も生まれません。ぜひ早急な対応をお願いいたします。執行部の考えをお伺いいたします。

幡町・田渡堰から白羽線について。

幡町・田渡白羽線についても、地元の地権者のご協力により、幡町入り口から田渡堰まで拡張工事が整然と完了いたしましたことは敬意を表します。しかし、田渡堰より白羽町、茅根に通じる区間が未整備なため、大型車両などの通行に支障を来しております。費用対効果を求める上でも当区間の拡張改良工事が望まれます。現政権においては、事業仕分けという中で、3年以上の休工事についてはとりやめという話もあります。いつも市長が言われているPDCA　いわゆる計画（P）、実行（D）にはタイミングが要求されると思います。なお、計画に当たっては、現行路線、西側を迂回する路線、長谷地区を迂回する路線が考えられますが、そこで当区間の計画はどのようになっているのかお伺いをいたします。

出前講座について。

出前講座は、平成19年7月より開設され、町への関心事や行政の仕組みを市政、暮らし、防災、安全、環境、保険、福祉、産業、都市整備、教育、学習、文化、スポーツに関する講座として、現在は9部門、96項目のボリュームで、市職員が地域で案内、紹介されていると聞きます。市民ニーズにマッチした取り組みと思われそうですが、いざ講座をお願いしようと利用ガイドブックを広げると、講座メニューの内容の把握にとまどいを感じられます。そこで、まちづくりの推進のため、出前講座をさらに普及させる上で、次のような提案をいたします。

講座メニューのビジュアル化　いわゆる形や図形による表現をすることです。実際の講座内容、状況をムービー化　いわゆる映像による表現をすることです。以上により、担当課における案内宣伝も容易になることはもちろん、講座開設申し込み者においても事前に講座内容の把握ができ、講座開設に励みがつくと思われそうですが、お考えをお聞かせください。

以上で1回目の質疑を終わりにします。前向きなご答弁をよろしく申し上げます。

議長（黒沢義久君）　答弁を求めます。市長。

〔市長　大久保太一君登壇〕

市長（大久保太一君）　宮の郷工業団地への太陽光発電　いわゆるメガソーラーの誘致についてのご質問についてお答えを申し上げます。

宮の郷工業団地につきましては、昨年12月に、株式会社北越フォレストが隣接地の区画2.3ヘクタールへ増設を決定いたしまして、現在建設中となっているところでございます。本施設は、本年の4月に完成の予定でございます。

ご提案のございました太陽光発電　いわゆるメガソーラーにつきまして、この立地のために

は3つ条件がございます。1つは日照時間、2つ目には特別高圧　いわゆる6万6,000ボルトの送電線の整備、そして3点目は一定規模以上の土地、10ないし20ヘクタールの無償提供ということが条件になっておりまして、これまで数社からの引き合いがあったと茨城県より聞いておりますが、進展していない状況でございます。

宮の郷工業団地につきましては、今年度茨城県知事の県政方針の中にもございましたように、常陸大宮市側に原木市場及び乾燥施設の整備を予定しておりまして、平成22年度にはラミナ製材工場の整備も計画されております。県としてはこれを積極的に支援していくということとなっております。あわせまして、次の段階として、木材関連の企業の誘致の計画を今進めているところであります。

私といたしましては、今後とも新たな雇用が見込める関連企業の誘致ということを進めていきたいというふうに思います。ご提案のございました新たな産業として期待できる新エネルギー関連産業の誘致につきましては、茨城県と連携を図りながら検討してまいりたいと考えているところでございます。

以上です。

議長（黒沢義久君）　建設部長。

〔建設部長　富田広美君登壇〕

建設部長（富田広美君）　市道改良についてのご質問にお答えいたします。

初めに、沢目・豆飼線についてでございます。この路線は、西小沢小学校の県道交差点を起点といたしまして、日立市方面へ向かう市道0217号線でありますが、この先を延伸することによりまして、須郷田地区から北上し、国道293号の川中子交差点までの市道0112号線に接続することができるものでございます。県道交差点から東側約1,500メートル区間につきましては、既に整備が完了してございます。残りの須郷田地区までの延伸部約700メートル区間のルートにつきましては、現在進められております圃場整備地区内を通過する計画としており、圃場整備にあわせての整備を考えております。また、国道293号までは、市道0112号線の整備になりますが、現在、川中子交差点から北側、世矢小学校までの整備を進めておりますので、その進捗を踏まえて事業化を検討してまいります。

次に、新宿線市営斎場入り口から天神林町線についてでございます。この路線は、国道293号市営斎場入り口交差点から天神林町の県道日立笠間線まで約2,000メートルを整備する計画であり、国道293号入り口から延長約1,400メートルが完成しております。残り約600メートルにつきましては、これまで地元説明会の開催、地元地権者の皆様方への用地の協力依頼をするなど、事業を推進してきたところでございますが、全員のご了解をいただくまでには至っていない状況でございます。現在、地元町会のご支援をいただきながら連携して用地協力の了解が得られるように取り組んでいるところでございます。引き続き、早期に整備できますよう努めてまいりますので、ご理解を賜りたいと存じます。

次に、幡町田渡堰から白羽線についてでございます。議員ご発言のように田渡堰から白羽町まで約400メートル区間が未整備となっております。この区間につきましては、現在、この地区

で整備を進めております市道里野宮白羽線の進捗状況を見ながら整備を進めることとしております。なお、ルート選定に当たりましては、この地区が埋蔵文化財包蔵地である田渡台遺跡の範囲にあることから、現地調査を十分に行い検討してまいりたいと考えております。

議長（黒沢義久君） 政策企画部長。

〔政策企画部長 江幡治君登壇〕

政策企画部長（江幡治君） まちづくり出前講座についてのご質問にお答えをいたします。

出前講座につきましては、市民のまちづくり等への関心事や、職員が行政の仕組み等をわかりやすく説明をし、市政への理解と関心を深めてもらうことにより、市民協働のまちづくりを推進することを目的としまして、平成19年7月に91の講座で始まり、現在96の講座になっております。

講座メニューのビジュアル化についてであります。利用ガイドブックにおきましては、利用するみなさんが聞きたい講座を選びやすくするために、議員のご発言にございましたように96の講座を9つの分野に分けまして、メニューを見れば講座内容、所要時間、担当課がわかるように工夫をして作成しているところでございます。今後もさらに工夫を重ねまして、見やすさの一層の充実に努めてまいりたいと考えております。

次に、講座内容等のムービー化など、映像化の映像表現についてでございますが、現在行っております講座につきましては、市民の皆さんが理解しやすいことを基本に多くの講座でプロジェクターなどを使用し、グラフや図、写真等をスクリーンに映し出すなど、映像を効果的に使いながら説明を行っております。今後も市民の皆さんにわかりやすく理解しやすいことを基本に、さらに改善、充実に努めてまいりたいと考えております。

議長（黒沢義久君） 21番 沢島亮君。

〔21番 沢島亮君登壇〕

21番（沢島亮君） 大変具体的な答弁、ありがとうございました。

市道改良幡町田渡堰から白羽線までについては理解をいたしましたが、その他について2回目の質疑をいたします。

企業誘致について2回目の質問をいたします。太陽光発電は、日照時間に左右されると思いますが、宮の郷工業団地は地形的に山の中腹に造成され、気象条件から見ても台風や降る雪の少ない地域でもあり、なお、地震等も少なく、立地条件には最適であると思われませんが、そこで、県へ働きかけを行うことを提案したいと思っておりますが、考え方をお伺いいたします。

沢目・豆飼線について。沢目・豆飼線は、小目地区の「再圃場整備事業」が進まないときには、市独自の単独事業でも道路を拡張、改良工事を早急に進めていくことを強く要望いたします。

新宿線市営斎場入り口から天神林町線について。当路線については、前回要望してから6年も経過しております。地元町会並びに関係地権者間で話し合いがもたれていると聞きますが、県道日立笠間線出口まで、残りの工事区間600メートルの接続が見出せないならば、路線の変更も視野に入れ検討すべきと思われる。1つの案としては、白馬寺より東へ山吹運動公園テニスコート脇に路線の変更をすることです。執行部の考えをお伺いいたします。

出前講座について。出前講座の趣旨や講座開設の回数などは理解をいたしました。しかし、市民に自ら行政組織を理解し、まちづくりに参加、活動していただくには、前にも述べましたように、さらにPR方法を変え、また、講座開設なども抜本的に検討を加えていくことが要求されると思います。お伺いをいたします。

以上、2回目の執行部の考えをお伺いいたします。

議長（黒沢義久君） 答弁を求めます。市長。

〔市長 大久保太一君登壇〕

市長（大久保太一君） 企業誘致に関する2回目のご質問にお答えを申し上げます。

宮の郷工業団地につきましては、議員もご案内のとおり、もともと県が事業主体となって進めてきた工業団地でございます。したがって、企業誘致に関しましては県及び立地をしております本市との協議の上で、どういう企業を誘致するか進めてきているところでございます。

市といたしましては、先ほども申し上げましたように、その企業が立地をすることによって雇用の場ができるだけ確保できるような企業の誘致に努めていきたい。メガソーラーの場合には、当初の設備投資は多額になるということはわかっておりますが、後は固定資産税のみということになるわけございまして、雇用の場の確保にも配慮いたしました企業誘致を進めていきたいと思っております。

議長（黒沢義久君） 建設部長。

〔建設部長 富田広美君登壇〕

建設部長（富田広美君） 市道改良についての再度のご質問にお答えいたします。

新宿線市営斎場入り口から天神林町についての県道日立笠間線接続部のルートの見直しについてでございますが、現在の計画で整備を進めたいと考えておりますけれども、今後、状況によりましてはルート変更も視野に入れなければならない場合もあり得ますので、このような状況になりましたならば慎重に検討してまいります。

議長（黒沢義久君） 政策企画部長。

〔政策企画部長 江幡治君登壇〕

政策企画部長（江幡治君） 出前講座の再度のご質問にお答えをいたします。

出前講座の積極的な推進につきましては、市民の皆さんに市政の理解と関心を深めてもらうことにより、市民協働のまちづくりを推進する上から大切なことと考えております。このため講座を実施した後に受講者からアンケート調査を行いまして、随時見直しをしております。また、毎年度末に1年間の実績や結果を踏まえまして、講座メニュー、講座内容の見直しを行いながら内容の充実に努めておりますので、今後は、公民館活動に取り入れていただけるような働きをしながら一層の推進を図ってまいりたいと考えております。

議長（黒沢義久君） 21番沢島亮君。

〔21番 沢島亮君登壇〕

21番（沢島亮君） すべてについて前向きなご答弁、ありがとうございました。おおむね了解をいたしました。

特に幹線道路の整備は、ご承知のとおり生活の基盤であり、地域の振興、発展には欠かせないものであります。また、安全、安心なまちづくりからも強く望まれます。最後に幹線道路の早急な整備、促進されることをお願い申し上げ、私の一般質問を終わりにいたします。